一般財団法人京都ユースホステル協会

2019年度事業報告書

期間：２０１９年４月１日～２０２０年３月３１日

“**Say Hi to the world** ー旅の持つ力ー”

若者が世界（旅）の扉を開けて　学びや発見に出会うために

ユースホステルはいつも彼らを応援します

〒616-8191　京都市右京区太秦中山町 29　宇多野 YH 内

TEL: 075-462-2312　FAX: 075-462-2289

URL: http://www.yh-kyoto.or.jp　E-mail: kyh@yh-kyoto.or.jp

目 次

目　次 …… 3

はじめに …… 4

数値目標達成状況 …… 5

事業活動概況

I.　ユースホステル活動 …… 6 - 8

II.　ユースホステル関連活動 …… 9 - 11

III.　宇多野ユースホステル（指定管理事業） …… 11 - 14

IV.　天橋立ユースホステル（指定管理事業） …… 15 - 19

V.　組織運営 …… 20

財務状況 …… 21 - 22

（別添資料）　公益目的支出計画実施報告書

2019 年度事業別詳細資料

はじめに

2019 年度は、経済の減速や保護主義の広がりの懸念など、社会や経済の不透明感が増す中で、ラグビーワールドカップなどで盛り上がりが見られたインバウンド観光も 1 月からの新型コロナウイルスの感染拡大により、最終的にはインバウンドを含む国内旅行にも大きな影響が出ました。

こうした感染症の広がりは、安心や安全、平和が重要な要素である旅やユースホステルの活動にとって大変大きな脅威であり、こうしたリスクと切り離すことができない活動や施設運営を考える 1 年となりました。

そうした中で、様々な状況や環境の変化に対応しながら、先を見通した持続可能な発展のためのユースホステル活動や事業、施設運営を時代に適応させる、対象や焦点を絞ったより具体的な試み等により、新しい価値や魅力の創造など、成長につなげる取り組みを行ってきました。

その結果、2019 年度は新型コロナウイルスの感染拡大など利用実績においては厳しい状況もありましたが、宇多野ユースホステルの宿泊予約キャンセルについては京都市からの損失補填等があり、また、これまで赤字運営を続けていた天橋立ユースホステルについても、年度終盤までの利用の伸び等により、運営実績や決算を改善することができました。

その結果、2019 年度の決算では、経常収益は 186,483,724 円（前年比 2,768,592 円減少）、当期経常増減額は 8,060,661 円（前年比 11,400,229 円増加）となりました。

宿泊等の利用実績においては、事業や施設運営において減少が見られるものもありますが、運営の効率化や経費の削減等にも取り組み、今後を見据えた必要な施設や設備、サービスの改善に必要な投資なども進めることができました。

新型コロナウイルの影響は、これからも長く続いて行くことが予想され、自然災害だけでなく感染症など、今後は予期せぬリスクを想定した運営も求められます。

こうしたリスクと付き合いながら運営や事業の向上、発展、人員の育成などについて、状況への適切な対応だけでなく、将来の成長を見据えた改善や経験の蓄積、新規の取り組みや投資などを今後も継続してまいります。

専務理事　髙田光治

数値目標達成状況

（１）事業・取り組み

事業活動	目標設定項目	目標数	実績数	達成度
ＹＨ活動	イベント参加者数	24,000 名	26,334 名	109.7%
	青少年イベント参加者数	6,000 名	6,449 名	107.5%
ＹＨ関連活動	夕食提供数	21,000 食	19,101 食	91.0%
	朝食提供数	30,700 食	26,802 食	87.3%
宇多野ＹＨ	宿泊実績	38,000 名	33,299 名	87.6%
	外国人宿泊実績	11,400 名	9,404 名	82.5%
	青少年宿泊実績	24,700 名	22,775 名	92.2%

（２）収支状況（経常増減額）

	一般会計 建設基金	物頒会計	宇多野会計	天橋立会計	総　合
予　算	－1,810,000 円	6,394,000 円	0 円	0 円	4,584,000 円
実　績	1,034,562 円	5,151,799 円	483,336 円	1,390,964 円	8,060,661 円
差　額 （対予算）	2,844,562 円	－1,242,201 円	483,336 円	1,390,964 円	3,476,661 円

事業活動概況）Ⅰ．ユースホステル活動

今年度は、これまで十分に取り組めていなかった『青少年が旅の体験を通して学ぶための活動』をより具体的な事業や宿泊を伴うプログラムという形にすることを進め、ユースホステルの魅力や社会的価値の向上を図りました。

合わせて、若者にはまずは旅に出てもらえるような啓発活動を行い、その中でユースホステルを使ってもらえるようＰＲに努めました。

（１）目標の達成状況

■ 年間イベント・事業活動参加実績目標：延 24,000 名
実績結果：延 26,334 名（目標達成率：109.7%）

■ 年間青少年対象事業活動参加実績目標：延 6,000 名
実績結果：延 6,449 名（目標達成率：107.5%）

■ 宿泊を伴う新規プログラムの実施　：５企画以上
結果　：４企画実施（目標達成率：80%）

（２）トピックス

１．社会的意義と旅の楽しさや学びを取り入れた宿泊事業の実施

■「Sleep for Peace ～ユースホステルから旅を送ろう！」事業

国際ＹＨ連盟が提唱、世界中のＹＨで「より良い未来を作るために、私たちに何が出来るか」を考えるイベントを開催、国内では 34 ヶ所のＹＨで一人 1 泊 250 円を様々な理由で旅に出る機会に恵まれない子ども達の無料招待プログラムに寄付する取り組みを行いました。この寄付金を使い国内では 8 ヶ所のＹＨでチャリティープログラムが開催され、宇多野ＹＨでは「ひとり親家庭」を対象とした親子の野外クッキング＆ＹＨ宿泊体験を行いました。

「家族で『旅』を楽しんでもらえれば」という事を念頭に実施ましたがあわせて家族同士の交流や子ども同士、親同士のコミュニケーションも生まれていました。

実施日：2019 年 12 月 21 日（土）～22 日（日）／参加人数：7 家族 21 名

■スウェーデンの自然学校から学ぶ【野外で授業】指導者養成ワークショップ

教育現場に携わる方を対象に実際にスウェーデンの教育現場で行われているプログラムの体験会を行いました。小学校の教員をはじめ森の幼稚園運営者や環境教育関連の団体職員等が参加、京都の参加者はわずか 3 名で、北は岩手県から南は高知県まで幅広い地域から参加いただいたことからも注目を集めていたと考えます。

実施日：2019 年 9 月 21 日（土）～22 日（日）／　参加者：19 名

共催：NPO 法人 当別エコロジカルコミュニティー　／　後援：京都市教育委員会

２．若者が旅に出るためのきっかけになる取り組み

大学生を始めとした若者層に「旅」に出ることの楽しさやその中で起こる人との出会いや交流による学びや気づきなどを伝えると共に、宿泊場所として国内外のＹＨや活動紹介をしました。以前実施した大学や団体から京都訪問の際に宇多野ＹＨへの宿泊に繋がり、宿泊の際に講義を依頼されるケースもありました。また大学ユースホステルクラブとの関係性も大切にし、彼らに海外ＹＨでのインターンの機会や宇多野ＹＨでの交流の機会の提供を図ってきました。

■**若旅☆授業**　京都先端科学大学／開催日：2019 年 5 月 21 日（火）／参加人数：160 名

■**関西の大学ユースホステルクラブ合同渉外会議での講演**　開催日：2020 年 2 月 16 日（日）

参加人数：50 名／場所：奈良ユースホステル

■**海外ユースホステルインターンシップ派遣**　期間：2019 年 8 月 21 日（水）～9 月 2 日（月）

参加人数：1 名／派遣地：オーストラリア・シドニーの Railway Square YHA

▲「若旅★授業」の様子

▲エブリデイワンに参加

▲海外ＹＨへのインターンも

３．京都をユニークに深く旅する機会の提供

前年度から引き続き好調なまち歩きイベント「まいまい京都」につきましては、年間を通して 800 コースを越え、参加者も 14,000 名を超えました。宇多野ＹＨ宿泊企画としても京都のお祭りを連続して巡るコースを開催、更には地域を拡大し大阪や奈良・神戸のコースも登場、トークイベントや修学旅行者向けに講演を依頼されるケースなど活動範囲を広げています。しかしながら新型コロナ

ウイルスの影響により 2020 年度は厳しい運営を迫られています。

また宇多野周辺の知られざる場所を訪問し話を聞くなど地域との連携事業「京都うなやと歴史文化部」については、職員が役員として関わり、地域の方の参加が中心とはなりますが、地域へのＹＨの認知度向上や交流の機会の一助を担っています。

■**まいまい京都 2019**　年間実施回数：808 回／参加人数：延 14,289 名（オーダーツアー含む）

■**京都うなやと・歴史文化部**　年間実施回数：5 回／参加人数：115 名

▲スタッフ研修で大ナゴヤツアーズ視察

▲ツアーの様子

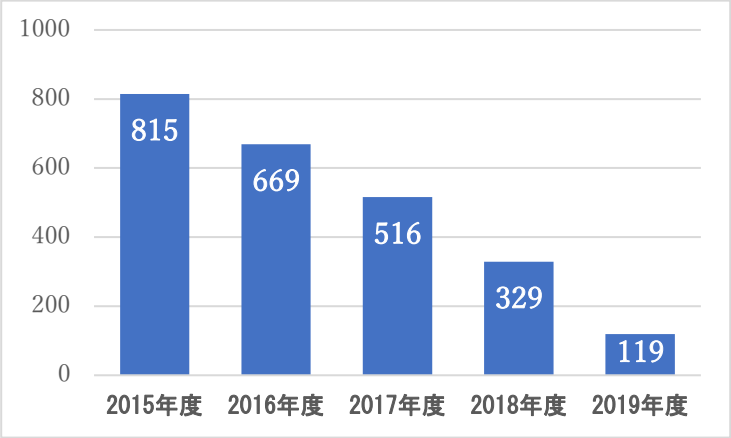
▲宇多野地域の御陵巡り

４．京都府下のユースホステル会員数及び利用状況

■ユースホステルの利用状況

ユースホステル名	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
宇多野ＹＨ	40,368 人	40,768 人	38,706 人	35,392 人	33,299 人
清水ＹＨ	1,239 人	1,265 人	931 人	692 人	470 人
美山ハイマートＹＨ	967 人	1,003 人	776 人	754 人	695 人
天橋立ＹＨ	3,234 人	3,126 人	3,010 人	2,760 人	3,283 人

■ユースホステルの会員数



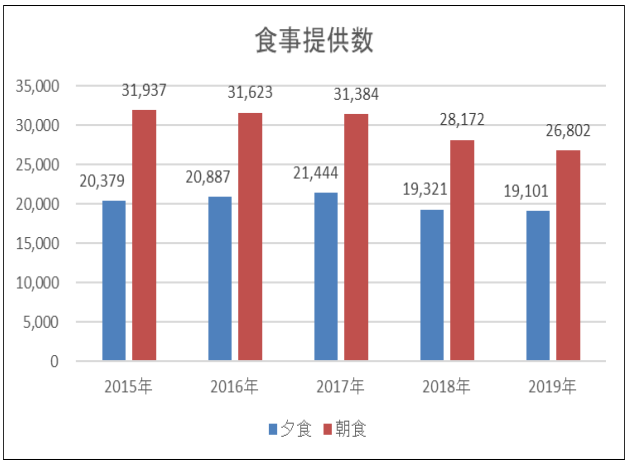
事業活動概況） Ⅱ. ユースホステル関連活動

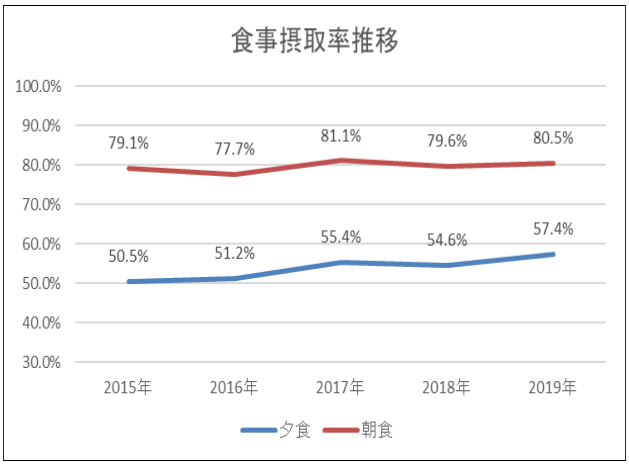
（1） 目標と達成状況

■ （目標）夕食提供数：21,000 食（摂取率 55.3%）
■ （結果）夕食提供数：19,101 食（摂取率 57.4%）
　　食数目標達成率：91.0%、対前年摂取率：+2.1%

■ （目標）朝食提供数：30,700 食（摂取率 80.8%）
■ （結果）朝食提供数：26,802 食（摂取率 80.5%）
　　食数目標達成率：87.3%、 対前年摂取率：-0.3%

■ （目標）アンケート満足度評価：4.50 点以上　※5 点満点
■ （結果）アンケート満足度評価：夕食 4.36 点（昨年度 4.54 点）
　　朝食 4.56 点（昨年度 4.58 点）



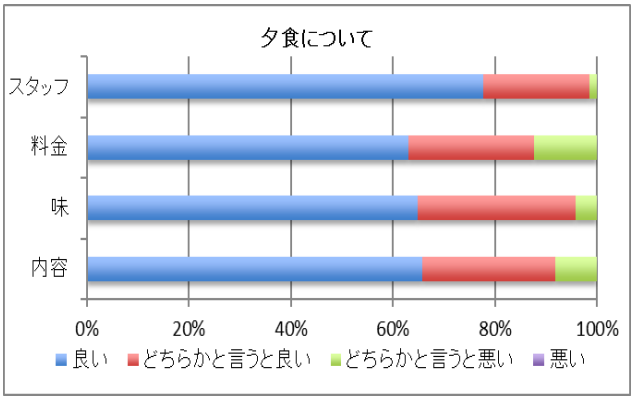


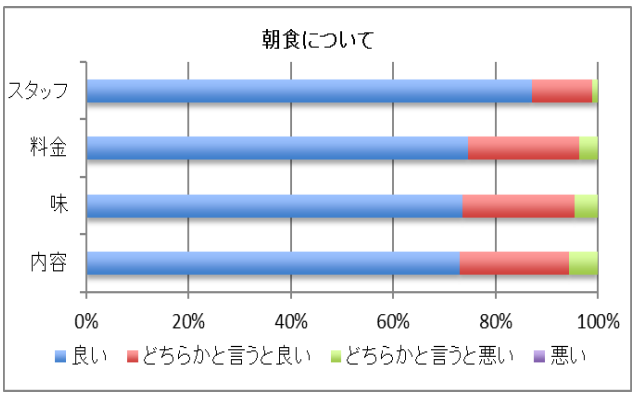
（2） 取り組みとアンケート結果

宿泊者のみなさまへ安全で美味しい食事を提供するために、日頃から間違いのない衛生管理を行っています。また、ご旅行中に食事に関して不自由が無いようにとの思いから、アレルギーや宗教食などのリクエストにも応じています。特に支援学校の生徒さんにはペースト食やきざみ食をご用意することもあり、大変喜ばれています。

今年度も春のブッフェ、夏のブッフェ、カレーバイキングなど特別な提供を実施し、日頃お世話になっている地域のみなさまもお越しになり、楽しんでいただく事が出来ました。

残念なことに年度中に新型コロナウイルスが発生し、感染防止のため徹底した消毒と換気を行い、バイキングスタイルなどの提供の仕方の変更や食事座席を離すなどの対応、お客様にも手洗い・消毒にご協力いただくなど、非常事態のなかでも出来得る限り安全で美味しい食事の提供を続けてきましたが、終息にいたらず年度終了となりました。





アンケートよりコメント

・特にみそ汁のお味が私にとって最高でした（78 歳女性）　・パンが美味しかった（59 歳女性）

・とてもおいしかったしボリュームも満点でした！　熱々のお料理を食べることができて良かった（15 歳女性）

・とにかく美味しかった！朝食はビジネスホテルのビュッフェよりも数段良かったです（44 歳男性）

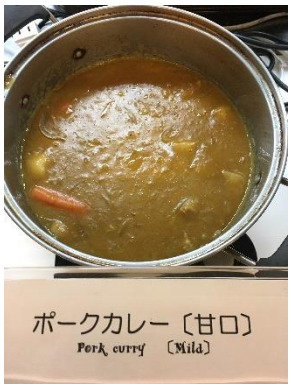
・アレルギーがありますので親切な対応をしていただきありがとうございます。

△きざみ食の一例

△修学旅行用メニュー一例

△春ブッフェ

△夏ブッフェ



△カレーバイキング

事業活動概況）Ⅲ. 宇多野ユースホステル

（1） 目標と達成状況

■ （目標）年間宿泊実績：38,000 名

■ （結果）年間宿泊実績：33,299 名（目標達成率：87.6%、対前年度：－2,093 名）

※新型コロナウイルスによる予約キャンセル数 2,839 泊

■ （目標）年間外国人宿泊実績：11,400 名

■ （結果）年間外国人宿泊実績： 9,404 名（目標達成率：82.5%、対前年度：－610 名）

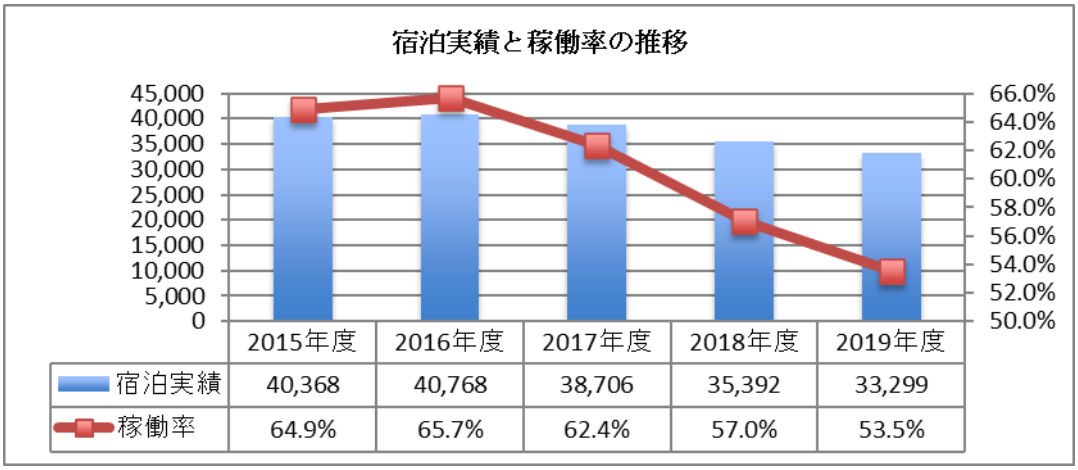
■ （目標）年間青少年宿泊実績：24,700 名

■ （結果）年間青少年宿泊実績：22,775 名（目標達成率：92.2%、対前年度：－1,681 名）

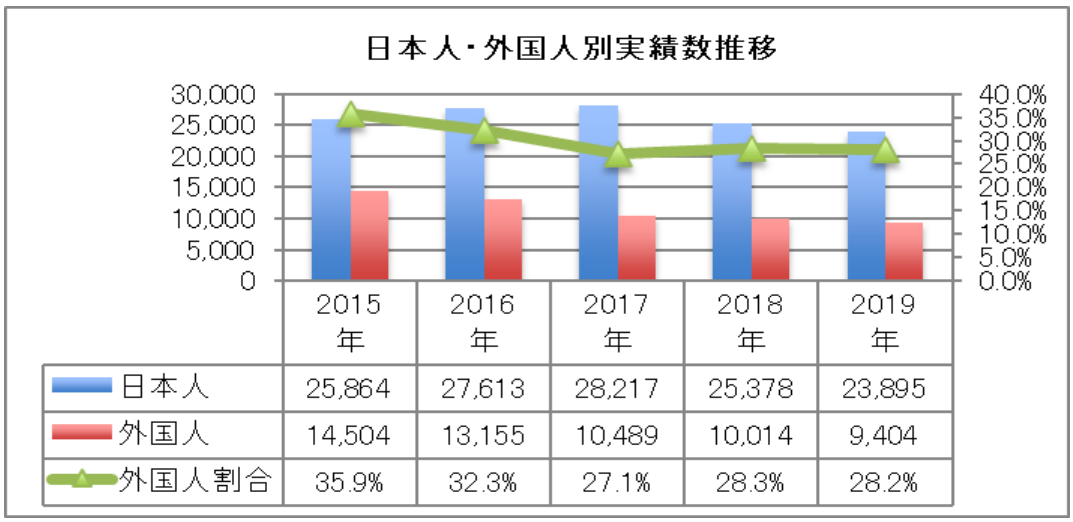
（2） トピックス

1. 新型コロナウイルスによるキャンセル相次ぐ

2 月 27 日、中国からの団体旅行が禁止されたのを皮切りに、団体・個人ともに予約キャンセルが増え続け 3 月末までの予約キャンセル数は 2,839 泊となり、春の行楽シーズンにも新規予約は入らない状況となりました。館内では相部屋の個室対応切り替えやチェックアウト後の消毒・換気など、感染防止に努めました。



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
宿泊実績	40,368	40,768	38,706	35,392	33,299
稼働率	64.9%	65.7%	62.4%	57.0%	53.5%



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
日本人	25,864	27,613	28,217	25,378	23,895
外国人	14,504	13,155	10,489	10,014	9,404
外国人割合	35.9%	32.3%	27.1%	28.3%	28.2%

2. 教育旅行は国内が増加、海外は減少

2019 年は日本国内の学校団体の利用が伸びましたが、ラグビーワールドカップの影響で訪日を敬遠されたオーストラリアの学校がいくつかありました。

また、新型コロナウイルスの影響で中国の団体利用が落ち込みました。そんな中、国別で中国がトップに来ているのは、中国の社会人グループが京都での仕事のために長期で滞在いただいたことが影響しました。

2019年4月-2020年3月

【学校団体利用実績】　※(　　)内は対前年度実績　※クラブ利用などは含まず

	合計	内訳		
		小学校	中学校	高校
学校団体利用実績	102校(+4校)	33校(+2校)	54校(+1校)	14校(±0校)
泊数	142泊(+8泊)	34泊(+2泊)	89泊(+5泊)	19泊(+1泊)
述べ宿泊者数	9,850名(+42名)	2,509名(＋274名)	6,558名(-187名)	783名(-45名)
平均泊数	1.39泊(＋0.09泊)	1.03泊(±0泊)	1.63泊(+0.05泊)	1.36泊(+0.07泊)
海外学生団体	82件(-16件)	上位国　(　)内は昨年度		
泊数	241泊(-72泊)	フランス24件、ｵｰｽﾄﾗﾘｱ13件、アメリカ14件、イギリス5件		
述べ宿泊者数	7,033名(-793名)	(フランス22件、ｵｰｽﾄﾗﾘｱ18件、アメリカ18件、中国10件)		
平均泊数	2.94泊(+泊)			

外国人国別トップ10

順位	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数	国名	泊数
1	韓国	1649	中国	2873	アメリカ	1580	フランス	1980	中国	2227
2	アメリカ	1601	アメリカ	1483	フランス	1284	中国	1965	フランス	1447
3	台湾	1295	韓国	1376	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1136	アメリカ	1272	アメリカ	1156
4	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1165	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1176	中国	1070	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	1095	韓国	680
5	中国	1036	フランス	1120	韓国	958	韓国	669	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	651
6	オランダ	1008	台湾	1065	ドイツ	678	イギリス	476	カナダ	502
7	フランス	963	ドイツ	704	台湾	615	カナダ	405	ドイツ	379
8	ドイツ	837	イギリス	384	イギリス	493	台湾	269	イタリア	378
9	デンマーク	628	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	315	カナダ	473	ドイツ	267	イギリス	334
10	イギリス	477	カナダ	282	ノルウェー	292	タイ	245	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	285
	その他	3845	その他	2377	その他	1910	その他	1371	その他	1365
	合計	14504	合計	13155	合計	10489	合計	10014	合計	9404

3.その他

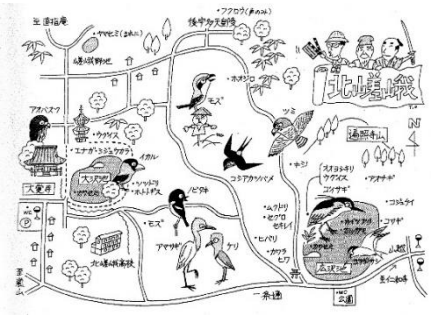
【青少年育成と地域との連携】

［国際交流アレンジ］

＊ノーステキサス大学と地元大学生との交流会（6 月 28 日）
＊合川小学校とシンガポール高校生との交流会（11 月 21 日）　　その他自由交流多数
＊ドイツ人スタッフによる宇多野小学校英語クラブ運営協力､右京ふれあいフェスタでの国際交流
　エブリデイワンでの宿泊者との交流等

［地域の方との協同事業］

・バードウォッチング北嵯峨コース：日本鳥類保護連盟 Kyoto 中村さん
・舞妓体験：藤野さん　　その他、地域イベンターのみなさん
・ユースホステル前バス停の協同管理運営：西部土木、宇多野自治会連合会



［ユースホステル職員による地域活動］

宇多野小学校学校運営委員会、鳴滝総合支援学校運営委員会、右京区行政推進会議オブザーバー、右京ふれあい文化会館活性化協議会、右京区まちづくり区民会議、京都歴史回廊運営協議会、京都はぐくみネットワーク、京都青少年ゆめネットワーク、京のアジェンダ 21 フォーラム　他

［営業広報等］

＊10 月 24 日～26 日　　VISIT JAPAN トラベルマート 2019 出展　海外エージェントとの商談
＊6 月 1 日～30 日　　京都市民宿泊半額キャンペーン実施（80 名が宿泊）
＊1 月 4 日～3 月 15 日　　小・中学生・高校生グループ宿泊半額キャンペーン実施
　　※市民新聞、各所へのチラシ配架、近隣学校での配布・張り紙、地域回覧板での案内にもご協力いただいています）
　　大学生グループ朝食無料キャンペーン実地

その他、営業活動随時実施　各大学クラブやスポーツ団体などへのチラシ・パンフレット送付　海外旅行博へのパンフレット参加　国内キーユースホステルと連携での広報　等

［職員研修］

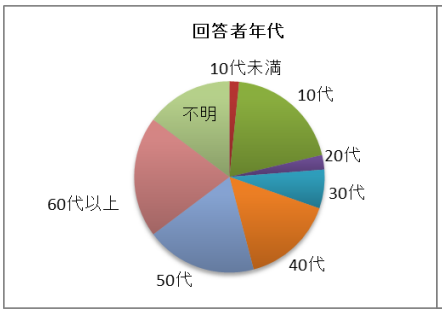
ノロウイルス研修、アレルギー講習、救急救命講習、防火・防災セミナー、消防訓練　など

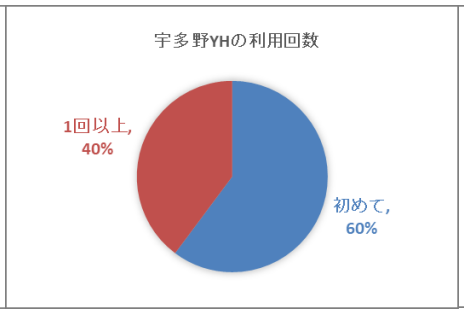
【利用者アンケート評価】

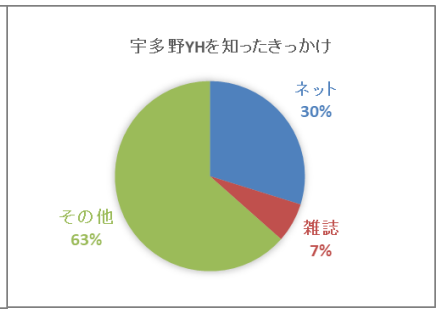
＊Trip Advisor
　とても良い 4.5
＊agoda
　非常に満足 8.5
＊楽天トラベル
　総合評価 4.0
＊Google
　総合評価とても満足 4.3
＊Booking.com
　Traveller Review Award 8.5

＊部屋は清潔で設備も新しく、食事も予想以上にとても美味しく長期滞在したいと思うくらい快適でした。
＊建屋のデザイン、設備、食堂と内容、職員の対応などなど全て良かった。
＊フロントのスタッフの方が笑顔で対応。質問にも笑顔で答えて下さいました。好印象。
＊清潔で親切で、自然の中にあって良い。（韓国）
＊スタッフがとてもフレンドリーで親切。（イギリス）
＊最高！（アラブ首長国連邦）
＊市内中心部から遠い。
＊テレビがほしい。

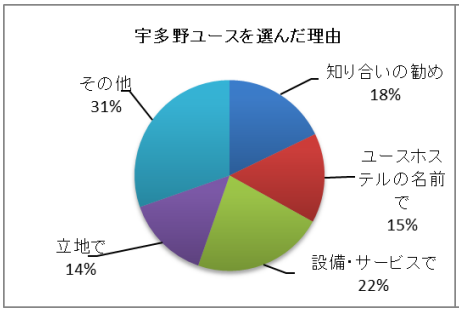
独自の宿泊者アンケート結果　　N＝122　※未回答除く

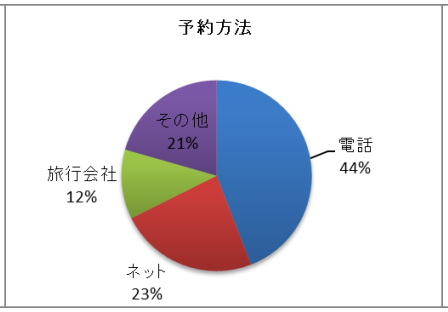


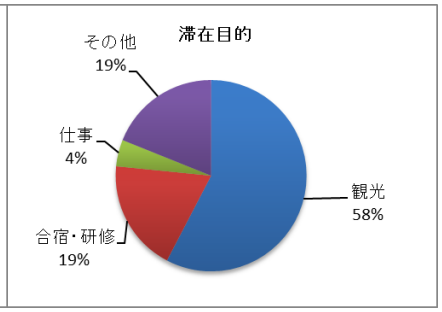




・Lonelyplanet　・各安宿の雑誌　・知人
・ツアーグループ・YH 会員　・市民新聞
・旅行会社

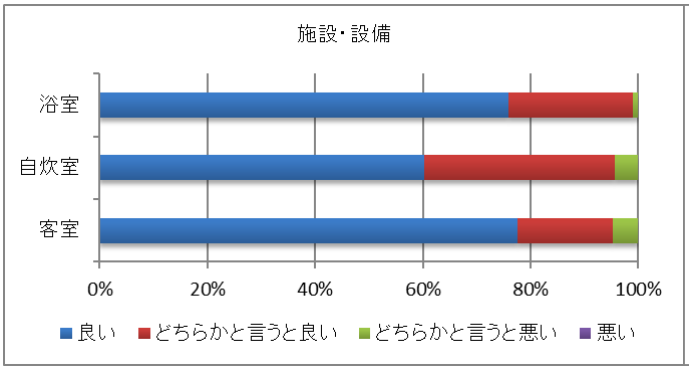


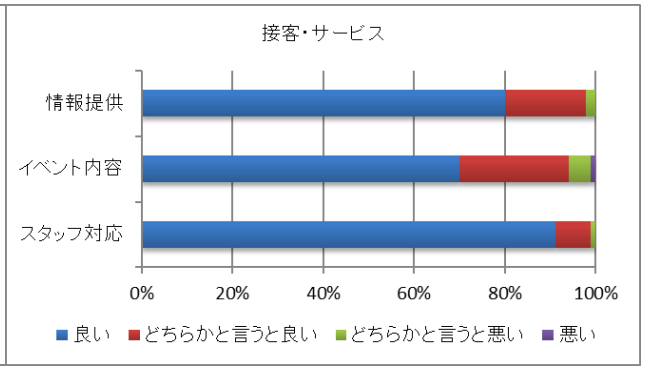




・何度か宿泊して良かったので
・毎年お世話になっている・市民半額キャンペーン
・ずっと来たいと思っていた　・旅行会社

・お見舞い　・同窓会　・修学旅行
・市民半額キャンペーン　スクーリング
・女子会





・とてもきれいな施設でどこを使わせてもらっても大満足でした。
・子どもが楽しめるゲームやハンモック、くつろげるスペースがたくさんありとても心地よく過ごせた。

・ささいな事でも尋ねやすく、ありがたいです。
・笑顔の対応にいやされます。どなたも誠意を感じてとても気持ちよく泊まれて感謝しています。
・来るたびにハマってしまいます(笑)

事業活動概況）Ⅳ. 天橋立ユースホステル

2019 年度は、これまでの指定管理による運営から施設の無償貸与による独自運営になりました。新たな運営スタートに向けて新しい管理運営者を募集しておりましたが、応募がなく、また体制に余裕がなかった為に運営者が見つかるまで専務理事が現場に常駐し運営にあたりました。

最小人員での運営を行いながらこれまでの課題であった「年間赤字の解消」、「宿泊者数の回復」、「運営の質や利用満足度の向上」など課題解決に取り組みながら、京都北部の運営滞在拠点を維持できる持続可能な運営実現に取り組みました。

最少人数での運営の中でこうした課題に取り組むため、オンライン予約の活用、利用者評価やコメントに応えた施設、設備の改修、食事やサービス等の改善などに取り組むなど、収支状況を見ながらポイントを絞った効率的な投資や運営を行い、赤字運営から脱却（約 139 万円黒字）することができました。

利用実績は、夏場や連休の台風や新型コロナウイルス感染拡大によるキャンセル等がありましたが、3,381 名（前年比 624 名増）となりました。

しかし、最小人数での運営の為に主催での事業運営や企画など、特色ある事業実施が先送りとなってしまいました。

また、2 月以降の新型コロナウイルス感染拡大により宿泊予約のキャンセルが多くなり、2020 年度の運営への影響が心配されます。

ただ、持続した運営を行う為に必要な人材の採用については、2 月早々に応募があった者の中から採用を行い、持続運営に必要な収支や利用実績の改善と合わせて、今後の運営について一定の目途を付けることができました。

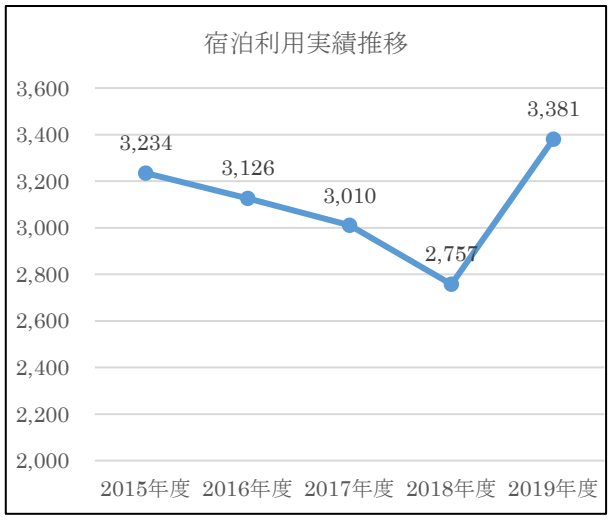
（１）目標の達成状況

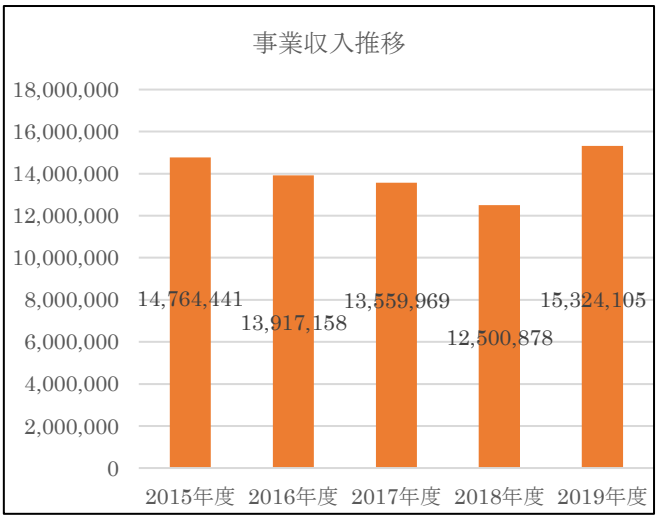
■ 年間宿泊実績目標　：　3,200 名

実績　：　3,381 名　※目標達成率：105.7%、対前年比：22.6%増

■ 年間外国人宿泊実績目標：　800 名

実績：　689 名　※目標達成率：86.1%、対前年比：4%減





（２）トピックス

１．収益改善に向けた取り組み

運営の効率化や省力化等による経費の削減、利用増による収入増加を図るため、少人数での運営、効率的な情報発信、利用者の声に応える施設やサービスの改善により、利用者の増加と満足度や評価の向上につながりました。

特にオンライン予約サイトからの利用者の評価が低かった寝室や立地等について、重点的に改善を行うと共に、眺望や自然環境、真名井神社の隣と言った立地の特色を発信しました。

また、宿泊者の満足度を高める朝食の充実、無料のユースホステルメールマガジン等を活用した月の情報発信、ホステリングマガジンでの施設紹介記事掲載、オンライン予約サイトのキャンペーン企画への参加なども行いました。

こうした旅行者の反応を見ながら改善に取り組んだ結果、宿泊利用者の増加や増収、運営経費の削減などにより、これまで先送りしていた施設や設備、サービス改善への投資を行うことができました。

１．利用者の話題に上る食事の改善

＊朝食の品数を増やすなど、食事内容を充実

＊冬のカニパックで利用する食材のカニのグレードアップ

２．利用者からの評価が低かった施設等の改善

＊硬くて評価の悪かった二段ベッド等の改善（各ベッドに低反発マットレスを導入）

＊古くなっていた寝室の畳の表替えや交換

＊匂い等の指摘もあった寝室の床やカーペットの張替改修等

３．快適な滞在や施設の魅力アップのための改善、サービスの充実

＊食堂へのエアコン設置やテラス休息スペースの充実

＊住み込みアルバイトの寝室改修（ベッドや寝具、壁など）

＊家族やグループで利用できる BBQ グリルやテーブル等の利用用具の充実

＊セルフサービスの喫茶や自炊コーナー等の改善や充実

＊評価が低かった Wi-Fi の利用環境を改善

（40 名以上での同時接続でも利用可能な速度の速い WI-FI ルーターや中継器を導入）

＊自転車をテラス等で保管できるサイクルスタンドの導入や自転車保管スペースの整備等

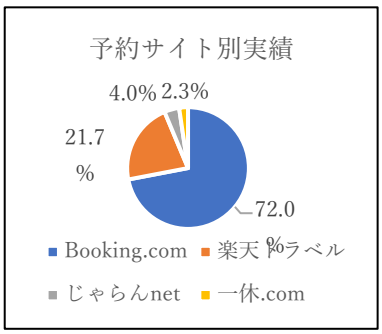
■Booking.com の利用者評価

☆これまでの累積評価　：8.1　→　8.2 へアップ

☆過去１年との評価比較：8.0　→　8.4 へアップ

■オンライイン予約サイトからの予約状況

1. 全宿泊者 3,381 名の 44.1%がオンライン予約での宿泊者。
   他は電話や YH ホームページ等からの予約
2. 楽天と Booking.com が全オンライン予約実績の約 93.7%を
   占める
3. オンライン予約サイトからの宿泊実績 1,492 名
   （前年比 35.8 %増）

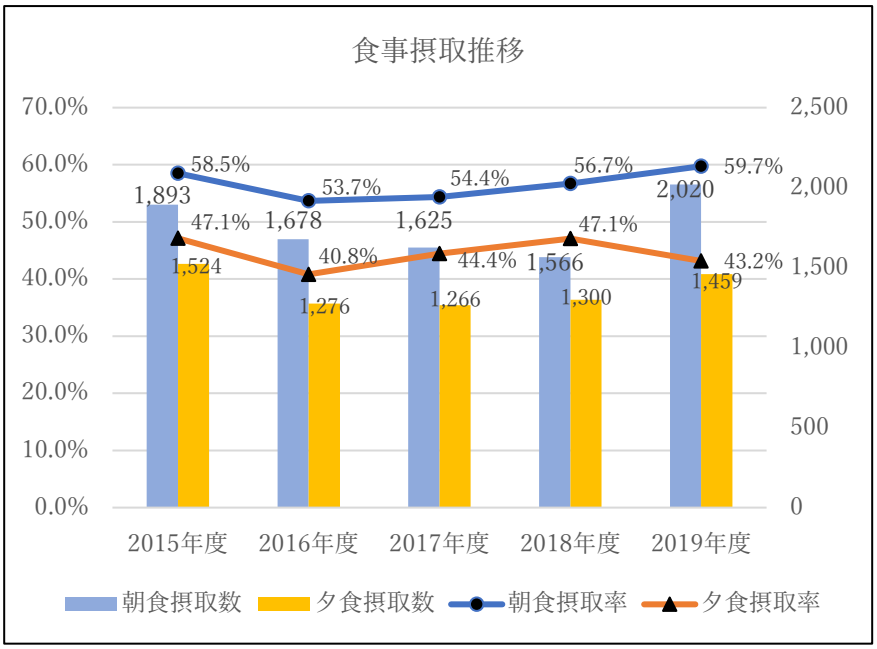


予約サイト別の宿泊予約実績

予約サイト名	予約件数	宿泊人数	宿泊割合	平均単価	ｷｬﾝｾﾙ件数
Booking.com	605	1,845	69.8%	3,631	347
楽天トラベル	160	635	24.0%	4,670	110
じゃらん net	38	92	3.5%	4,513	16
一休.com	15	72	2.7%	4,665	17
計	818	2,644	100.0%	3,939	490

天橋立YH上半期食事提供状況

項目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
朝食摂取率	58.5%	53.7%	54.4%	56.7%	59.7%
夕食摂取率	47.1%	40.8%	44.4%	47.1%	43.2%
朝食摂取数	1,893	1,678	1,625	1,566	2,020
夕食摂取数	1,524	1,276	1,266	1,300	1,459



２．地域資源を活用した取り組み

地元が力を入れているイベントや催しに合わせた情報発信、参加呼びかけの他、アクティビティセンターと連動したシーカヤックやサップ、魚釣り体験、養老漁港での定置網体験などの利用を継続して紹介。船釣り等での宿泊利用も見らえるようになった。

また、地元の子供たちとのスポーツ交流で訪れるサッカーや野球などのチームの宿泊受入れの他、京都府が取り組む国内ワーキングホリディ制度で地元の施設で働く若者の長期滞在受け入れにも協力し、利用を伸ばすことができました。

（籠神社・光のｱﾄﾘｴ）

３．新たな条件での運営に対応できる体制づくりと人材採用・育成

2019 度より指定管理の運営から施設の無償貸与による新しい運営がスタートしました。

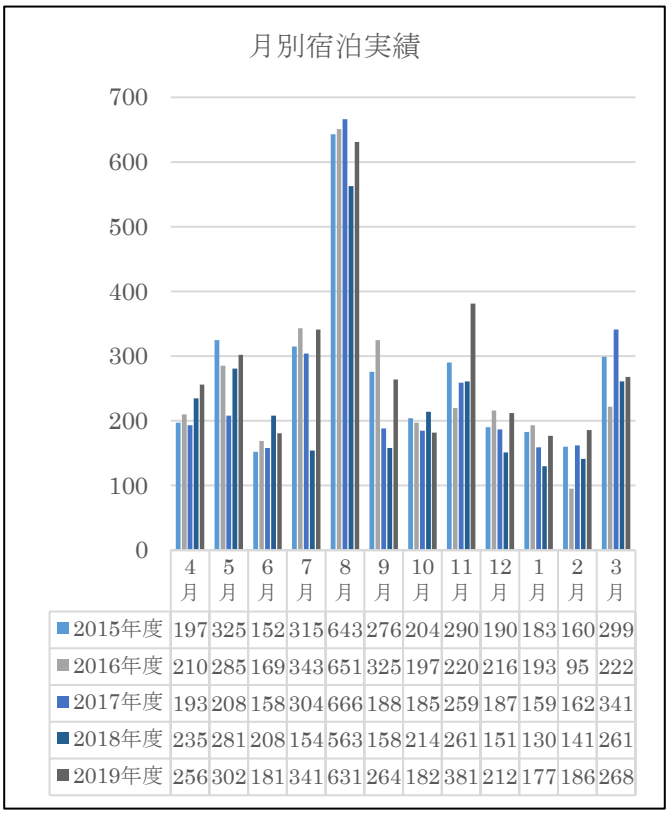
料金設定や運営方法などの自由度は増したが、施設や設備の維持、改善善の投資や負担が必要になりました。

こうした状況に対応し、新しい取り組み手法の導入、収支の健全性の維持など機会を生かし運営課題の解決やそのための人材の採用・育成の他、持続的に施設やサービス、事業の改善、投資を行う為、今期は新たな運営人材が見つかり運営を引き継ぐまで、専務理事が運営にあたりました。新型コロナウイルスの感染拡大の今後の影響が懸念されるものの、施設の無償貸与による現行条件での持続可能な運営に一定の目途を付けることができました。

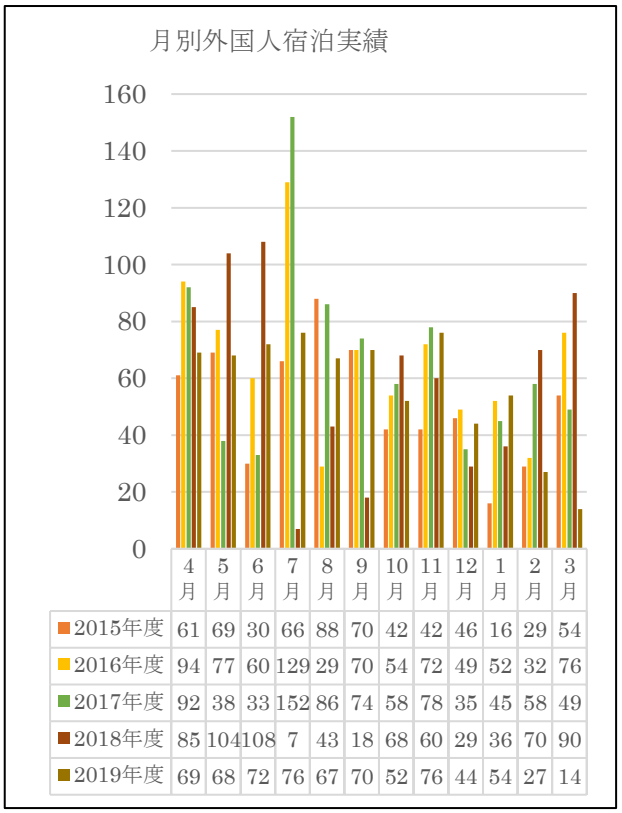
2019 年度新型コロナウイルスによるキャンセル件数

項目	2 月			3 月			合計		
	件数	人数	金額	件数	人数	金額	件数	人数	金額
Booking.com	17	43	152,650	21	75	264,000	38	118	416,650
楽天	3	8	27,600	9	16	55,200	12	24	82,800
じゃらん				4	9	29,200	4	9	29,200
一休	1	4	13,200	3	4	13,400	4	8	26,600
電話・HP 他	2	4	15,200	7	37	140,600	9	41	155,800
合計	23	59	208,650	44	141	502,400	67	200	711,050

■その他の運営データー



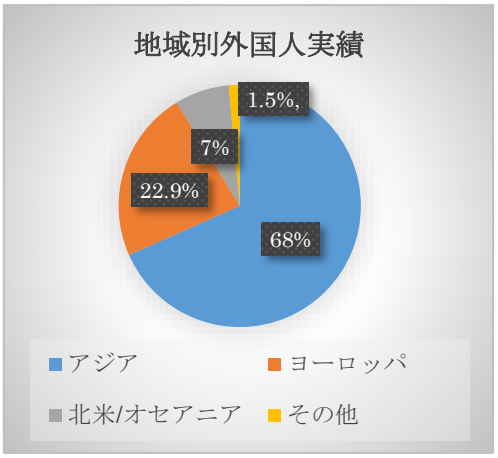
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年度	197	325	152	315	643	276	204	290	190	183	160	299
2016年度	210	285	169	343	651	325	197	220	216	193	95	222
2017年度	193	208	158	304	666	188	185	259	187	159	162	341
2018年度	235	281	208	154	563	158	214	261	151	130	141	261
2019年度	256	302	181	341	631	264	182	381	212	177	186	268



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年度	61	69	30	66	88	70	42	42	46	16	29	54
2016年度	94	77	60	129	29	70	54	72	49	52	32	76
2017年度	92	38	33	152	86	74	58	78	35	45	58	49
2018年度	85	104	108	7	43	18	68	60	29	36	70	90
2019年度	69	68	72	76	67	70	52	76	44	54	27	14

主要な国・地域別宿泊利用者数

国・地域	2017 年度	2018 年度	2019 年度
台湾	217	268	239
タイ	8	44	92
ドイツ	61	24	44
フランス	69	50	44
中国	54	41	37
韓国	61	42	29
マレーシア	27	6	28
アメリカ	36	30	24
イギリス	19	14	19
香港	64	24	17
オーストラリア	17	32	15
スイス	8	12	14
ベトナム	9	10	13
ｵｰｽﾄﾘｱ	3	9	12
スウェーデン	0	0	8
ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ	5	26	7
その他	140	86	47
計	798	718	689



事業活動概況）Ⅴ. 組織運営

2019 年度は 2018 年度と比べ、宇多野ユースホステルの運営体制を 1 名減員して運営してきましたが、職員の入退社による負担や業務の整理・効率化・システム化の不十分さなどがあり、当初計画していました取り組みを達成するまでには至りませんでした。

［事業分野別目標］

1. 安定的な運営体制の確立
2. 労働環境の見直し・改善・整備

加えて、2 月以降は新型コロナウイルスにより今までにない対応が求められたこともあり、厳しい組織運営の一年となりました。

この厳しい状況は 2020 年度も当面続くことが想定されるため、今までの組織運営に捉われず、状況に適応したスタイルへと変化していくよう努めたいと思います。

財務状況

（１）概　要

１．決算概況

2019 年度の決算額は、2 月・3 月に新型コロナウイルスの影響を受けましたが、当期経常増減額は協会全体で 8,060,661 円となり、期末の正味財産残高は 100,128,165 円となりました。

まず、宇多野ユースホステルは職員 1 名を減らした体制による運営や宿泊実績の改善により、2019 年度上半期時点では 5,716,965 円の当期経常増減額となっておりましたが、2 月・3 月は新型コロナウイルスの影響を非常に大きく受け、当初の決算見込みを大きく変えざるを得ない状況となりました。

宇多野ユースホステル宿泊実績			
	2018 年度	2019 年度	前年比
2 月	2,132 名	1,701 名	79.8%
3 月	3,091 名	559 名	18.1%

そのため、大幅な実績悪化の見込みが立った時点で納付金の減額や一部免除等の特例措置を京都市担当課にお願いしてきた結果、新型コロナウイルスによるキャンセル損失額に見合った 2019 年度運営補償金を給付していただき、宇多野ユースホステル会計の経常増減額は 483,336 円で終えることが出来ました。その補償金がなければ、5,329,024 円の赤字となっておりました。

しかし、自主事業の宇多野ユースホステルにおける食堂運営事業に関しては、夕食・朝食ともに計画していた目標食事提供数を大幅に下回る結果となり、経常収益が前年度と比べ 2,899,001 円減少（前年比：59.0%）し、経常増減額は 4,178,322 円となりました。

また、運営業務の委託を想定した新しい運営形態を試行してきた天橋立ユースホステルは、「赤字解消」、「担い手の確保」、「質と満足度の向上」の 3 つの課題解決に向けて最少人数で運営を行った結果、宮津市からの指定管理料を受けることなく、1,390,964 円の黒字（対前年：＋3,198,295 円）となりました。

これからは、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が日常生活に浸透していく中で、各事業活動においては「新しい生活様式」に対応するために見直しと改善を行い、安定した事業活動を継続できるように努めたいと思います。

［経営実績の推移］

科　　目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
経常収益（収入）	220,025,139	217,538,436	214,339,353	198,404,625	195,286,399
事業推進業務	63,716,757	63,703,216	67,027,118	61,027,987	5,838,2977
指定管理業務	144,958,944	143,549,047	137,876,004	127,088,381	126,904,419
組織運営業務	11,349,438	10,286,173	9,436,231	10,288,257	9,999,003
経常費用（費用）	212,862,897	211,008,692	210,018,271	201,744,193	187,225,738
事業推進業務	56,219,315	57,403,144	58,758,578	52,862,186	52,566,977
指定管理業務	143,577,163	142,175,295	139,642,199	134,873,577	125,694,320
組織運営業務	13,066,419	11,430,253	11,617,494	14,008,430	8,964,441
当期経常増減額（経常利益）	7,162,242	6,529,744	4,321,082	- 3,339,568	8,060,661
経常外増減額（経常外利益）	0	- 5	- 1	- 869,935	0
当期正味財産増加額（純利益）	7,162,242	6,529,739	4,321,081	- 4,209,503	8,060,661
正味財産期末残高	85,426,187	91,955,926	96,277,007	92,067,504	100,128,165

※ 2015 年度より宇多野ユースホステルは利用料金制での運営となりました。

２．公益目的財産額

2019年度の公益目的のための支出額は、青少年育成事業（継続1）では648,333円、ユースホステル運営事業（継続2）では - 1,210,099円となり、合計で公益目的のために支出すべき額が561,766円増加する結果となりました。宇多野ユースホステルが京都市から運営補償金をいただけたこと、また天橋立ユースホステルの収支改善（黒字化）が達成できたことによります。

最終的に、2019 年度期末時点の公益目的財産額は、39,390,922 円となりました。

［公益目的事業の推移］

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
公益目的財産額（期首）	54,189,392	53,968,351	53,845,519	50,657,098	38,829,226
公益目的財産収支差額	- 221,041	- 122,832	- 3,188,421	- 11,827,872	561,766
公益目的財産額（期末）	53,968,351	53,845,519	50,657,098	38,829,226	39,390,922